



## 2022年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年2月10日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社トーカイ

コード番号 9729 URL https://www.tokai-corp.com/

代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小野木 孝二

問合せ先責任者(役職名) 執行役員経理本部長 (氏名) 藤井 哲行 (TEL) 058(263)-5111

四半期報告書提出予定日 2022年2月14日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2022年3月期第3四半期の連結業績(2021年4月1日~2021年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	92,101	4.4	6,172	21.5	6,705	18.2	4,444	18.6
2021年3月期第3四半期	88,202	△3.3	5,078	△11.4	5,672	△5.0	3,748	△4.3

(注) 包括利益 2022年3月期第3四半期 4,225百万円( 0.6%) 2021年3月期第3四半期 4,201百万円( 6.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	125.74	—
2021年3月期第3四半期	105.26	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第3四半期	104,578	76,114	72.3
2021年3月期	102,180	73,878	71.8

(参考) 自己資本 2022年3月期第3四半期 75,594百万円 2021年3月期 73,386百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00
2022年3月期	—	19.00	—		
2022年3月期(予想)				19.00	38.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日~2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	123,160	4.4	7,732	6.0	8,067	0.2	5,315	△3.0	150.97

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期3Q	36,041,346株	2021年3月期	36,041,346株
② 期末自己株式数	2022年3月期3Q	835,777株	2021年3月期	503,239株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期3Q	35,348,455株	2021年3月期3Q	35,608,660株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

国の社会保障制度改革により、超高齢社会の医療・介護ニーズに合わせたサービス提供体制の再構築、地域包括ケアシステムの構築、在宅サービスの充実等が段階的に進められており、医療・介護業界は大きな転換期を迎えております。

また、新型コロナウイルス感染症の断続的な拡大は、社会や人々の生活にさまざまな変化をもたらし、当社グループの経営環境及び事業環境にも影響を及ぼしております。

当社グループにおきましては「清潔と健康」に関わるサービス事業者として、感染防止の対策を徹底しながら事業を継続することで、社会的使命を果たすと共に、従業員やその家族の罹患防止・安全確保を行っております。

こうしたなか当社グループは、2021年5月に策定しました中期経営計画「Challenge for the new stage!」で掲げる2025年3月期の数値目標、売上高1,400億円、営業利益95億円の達成に向け、また、持続的な成長を実現できる新たなステージを目指し、「続ける」「変える」「創る」の3つの基本方針に沿った施策を推進しております。

当第3四半期連結累計期間における当社グループの経営成績につきましては、売上高92,101百万円（前年同四半期比3,899百万円増、4.4%増）、営業利益6,172百万円（前年同四半期比1,094百万円増、21.5%増）、経常利益6,705百万円（前年同四半期比1,032百万円増、18.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益4,444百万円（前年同四半期比696百万円増、18.6%増）と前年同四半期比増収増益となりました。売上・利益ともに、新型コロナウイルス感染拡大前の2020年3月期同四半期を上回り、過去最高を更新いたしました。

#### [セグメント別状況]

##### ① 健康生活サービス

シルバー事業の介護用品レンタルや病院関連事業の戦略商品である「入院セット」「ネクサージ」の好調な推移等が、寝具・リネンサプライ事業及びクリーニング設備製造事業への新型コロナウイルス感染拡大の影響を払拭し、当セグメントは前年同四半期比増収となりました。利益面につきましては、事業拡大のための人件費の増加、レンタル資材費の増加はあるものの、売上増加に伴う利益増等により前年同四半期比増益となりました。

売上高	47,527百万円	（前年同四半期比	2,288百万円増、	5.1%増）
営業利益	4,613百万円	（前年同四半期比	833百万円増、	22.1%増）

##### ② 調剤サービス

当期8店舗の出店、4店舗の閉店により、142店舗の事業展開となりました。  
前期に出店した7店舗を含む新店効果に加え、受診控えによる処方患者数減少からの回復の傾向が見られ処方箋枚数が増加したこと、また、地域に密着したかかりつけ機能の強化等により技術料単価が上昇したことから、前年同四半期比増収増益となりました。

売上高	34,430百万円	（前年同四半期比	1,453百万円増、	4.4%増）
営業利益	2,252百万円	（前年同四半期比	126百万円増、	6.0%増）

##### ③ 環境サービス

感染症対策需要により病院清掃を中心としたビル清掃管理事業が引き続き順調に推移したことに加え、飲食店等取引先の業況悪化による影響が続くリースキン事業においてもトイレ周り商品を中心に売上が増加したことから、前年同四半期比増収となりました。利益面につきましては、売上増加に伴う利益増に加え、ビル清掃管理事業の収益性が向上したことにより、前年同四半期比増益となりました。

売上高	10,001百万円	（前年同四半期比	161百万円増、	1.6%増）
営業利益	951百万円	（前年同四半期比	227百万円増、	31.4%増）

## (2) 財政状態に関する説明

### (資産)

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末の102,180百万円から2,397百万円増加し、104,578百万円となりました。これは、主に現金及び預金が676百万円、繰延税金資産が220百万円減少したものの、受取手形及び売掛金が1,226百万円、差入保証金（投資その他の資産「その他」）が667百万円、投資有価証券が578百万円、並びにリース資産（有形固定資産「その他」）が457百万円増加したことが主な要因となっております。

### (負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末の28,302百万円から161百万円増加し、28,464百万円となりました。これは、主に賞与引当金が1,025百万円、未払法人税等が932百万円、長期借入金が288百万円減少したものの、支払手形及び買掛金が955百万円、未払金（流動負債「その他」）が782百万円、並びに預り金（流動負債「その他」）が689百万円増加したことが主な要因となっております。

### (純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末の73,878百万円から2,235百万円増加し、76,114百万円となりました。これは、主に自己株式の取得による減少824百万円、配当金の支払いによる減少1,203百万円、並びにその他有価証券評価差額金の減少257百万円あったものの、親会社株主に帰属する四半期純利益4,444百万円の計上したことが主な要因となっております。

この結果、自己資本比率は72.3%(前連結会計年度末比0.5%増)となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現段階で入手可能な資料に基づき2022年3月期通期の連結業績予想を検討した結果、2021年5月7日公表の連結業績予想を踏襲いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

### (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	35,148	34,471
受取手形及び売掛金	17,078	18,304
有価証券	93	300
棚卸資産	5,646	5,626
その他	838	843
貸倒引当金	△35	△35
流動資産合計	58,769	59,511
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	10,997	10,734
機械装置及び運搬具（純額）	4,578	4,255
土地	11,443	11,443
その他（純額）	3,190	4,019
有形固定資産合計	30,209	30,453
無形固定資産		
のれん	185	119
その他	1,332	1,271
無形固定資産合計	1,517	1,390
投資その他の資産		
投資有価証券	6,476	7,054
繰延税金資産	1,303	1,082
その他	4,175	5,326
貸倒引当金	△270	△240
投資その他の資産合計	11,684	13,222
固定資産合計	43,411	45,066
資産合計	102,180	104,578

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,178	13,134
短期借入金	1,804	1,947
未払法人税等	1,370	437
賞与引当金	2,060	1,035
役員賞与引当金	75	62
その他	5,200	6,488
流動負債合計	22,689	23,105
固定負債		
長期借入金	807	518
繰延税金負債	362	417
役員退職慰労引当金	502	487
退職給付に係る負債	2,010	2,092
その他	1,929	1,842
固定負債合計	5,612	5,358
負債合計	28,302	28,464
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,108	8,108
資本剰余金	4,948	4,949
利益剰余金	59,643	62,884
自己株式	△1,164	△1,951
株主資本合計	71,535	73,991
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,900	1,642
退職給付に係る調整累計額	△48	△39
その他の包括利益累計額合計	1,851	1,602
非支配株主持分	491	519
純資産合計	73,878	76,114
負債純資産合計	102,180	104,578

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)
売上高	88,202	92,101
売上原価	66,620	68,929
売上総利益	21,582	23,172
販売費及び一般管理費	16,503	17,000
営業利益	5,078	6,172
営業外収益		
受取利息	15	13
受取配当金	100	110
投資有価証券売却益	—	179
助成金収入	263	103
保険解約返戻金	135	10
その他	160	207
営業外収益合計	675	625
営業外費用		
支払利息	25	22
その他	55	69
営業外費用合計	81	92
経常利益	5,672	6,705
特別利益		
固定資産売却益	1	1
関係会社株式売却益	—	36
特別利益合計	1	37
特別損失		
固定資産除却損	7	15
減損損失	18	56
災害による損失	—	30
投資有価証券評価損	46	—
店舗閉鎖損失	4	0
店舗閉鎖損失引当金繰入額	10	1
特別損失合計	87	104
税金等調整前四半期純利益	5,587	6,638
法人税、住民税及び事業税	1,489	1,786
法人税等調整額	319	378
法人税等合計	1,809	2,164
四半期純利益	3,778	4,474
非支配株主に帰属する四半期純利益	30	29
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,748	4,444

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
四半期純利益	3,778	4,474
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	421	△257
退職給付に係る調整額	2	8
その他の包括利益合計	423	△248
四半期包括利益	4,201	4,225
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,171	4,196
非支配株主に係る四半期包括利益	30	29

### (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

これにより、リベート等の顧客に支払われる対価について、従来、販売費及び一般管理費として処理する方法によっておりましたが、取引価格から減額する方法に変更しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。ただし、収益認識会計基準第86項に定める方法を適用し、第1四半期連結会計期間の期首より前までに従前の取扱いに従ってほとんどすべての収益の額を認識した契約に、新たな会計方針を遡及適用しておりません。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は10百万円減少し、販売費及び一般管理費は10百万円減少しております。営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。また、利益剰余金の当期首残高への影響もありません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。これにより四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	健康生活 サービス	調剤 サービス	環境 サービス	計				
売上高								
外部顧客への売上高	45,238	32,977	9,840	88,056	146	88,202	—	88,202
セグメント間の内部 売上高又は振替高	32	0	276	309	2	312	△312	—
計	45,271	32,977	10,117	88,366	149	88,515	△312	88,202
セグメント利益	3,779	2,126	724	6,629	17	6,646	△1,568	5,078

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報提供事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△1,568百万円には、セグメント間取引消去49百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△1,617百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

特記すべき事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	健康生活 サービス	調剤 サービス	環境 サービス	計				
売上高								
外部顧客への売上高	47,527	34,430	10,001	91,959	142	92,101	—	92,101
セグメント間の内部 売上高又は振替高	33	1	274	309	2	311	△311	—
計	47,560	34,432	10,275	92,268	144	92,413	△311	92,101
セグメント利益	4,613	2,252	951	7,817	10	7,828	△1,655	6,172

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報提供事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△1,655百万円には、セグメント間取引消去0百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△1,656百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

特記すべき事項はありません。